

接続詞 that (think that)

意味と訳し方を中学生にわかりやすく解説

接続詞とは

接続詞には

- ・ and, or などの等位接続詞
- ・ when, becauseなどの従属接続詞

の二種類があるんだ。

等位接続詞とは

動詞と動詞、名詞と名詞など同じ品詞をつなぐときに使うよ。

動詞と動詞：I play and like tennis.

⇒playとlikeの動詞をつないでいる

名詞と名詞：I like tennis and soccer.

⇒tennisとsoccerの名詞をつないでいる

「等位」は「等しい位」という意味だよ。
だから同じ品詞だけをつなぐんだね。

それに対して、従属接続詞は、二つの文をつなぐときに使うよ。

「従属」とは一方の文章を「メイン」にしたとき、もう片方の文章を「補足」として追加することだよ。



When I am free, I read books. (暇なとき、私は本を読む)

⇒ 「ひまなとき」と「本を読む」の二つの文をつないでいる

Because I am busy, I can't go there. (忙しいので、私はそこに行けない)

⇒ 「私は忙しいので」と「私はそこに行けない」の二つの文をつないでいる

例えば、「本を読む」がメインの文であれば、「ひまなとき」という従属、つまり補足の文は説明であって、無くても通じるよね。

「私はそこに行けない」というメインの文に対して、「忙しいので」という理由を補足しているよね。

接続詞の種類

構文：主語 動詞 ～ 接続詞 主語 動詞 ～

例 : I think that the movie is interesting.

I am absent because I am sick.

I will go if I have free time.

I read books when I am free.

図のように、主語・動詞でつながる二つの文の間に接続詞があるよね。

今まで英語は主語と動詞が一つしかないことが多かったけれど、接続詞を使えばその限りじゃなくなるんだ。

長文では接続詞はとても大事なキーワードになっているから、使い方だけでなく意味もしっかりと覚えておこう！

今回は従属接続詞の単元から、「that」「because」「when」「if」について紹介するよ。



接続詞 that とは

今まではthatと言ったら「あの」や「その」と言った、指示代名詞（thisやthese等）でしか使っていなかったね。

だけど今回学習するthatには「～すること」という意味を持たせる接続詞としてのほたらきがあるんだ。

「接続詞」とは「文をつなぐ役割」を持つ単語のことで、他にはand、or、because、althoughなどがあったね。

接続詞のthatと指示代名詞のthatだと使い方に違いがあるから、そこで判別できるんだ。

接続詞thatの構文

接続詞thatの構文でよくあるのは

I thinkやI knowなどの「思う」や「知っている」などの単語のあとに使って、

I think that + S V

の形にするのが多いよ。

I think that S + V

⇒ SがVすると思う



I think thatの意味

I think thatはthatの中の文に対して、「～だと思ふ」という訳になるよ。

なので、I think that curry came to Japan from India.という文で考えてみると、

- ①I think that
- ②Curry came to Japan from india

の二つの文に分けられるんだ。それぞれ訳してみると、

- ①～だと思ふ
- ②カレーがインドから日本に来た

まずはthat以下の②を訳してから①を訳すと日本語の意味になるね。

I think that S + V ⇒ SがVすると思ふ
I think that curry came to Japan from India.
⇒カレーがインドから日本に来たと思ふ

think以外にも同じような形をとることができるんだ。

- ・ I think that = 「～だと思ふ」
- ・ I know that = 「～だと知っている」
- ・ I hope that = 「～だと望む」



接続詞 thatの省略

この文章ではthatは省略することができるんだ。

例えば、

I think that the movie is interesting.

= I think the movie is interesting.

(その映画が面白いと思う)

I think that it will rain tomorrow.

= I think it will rain tomorrow.

(明日雨が降ると思う)

thatがなくても同じ意味になるよ。

接続詞 becauseとは

becauseの意味

原因や理由を表す文章を作るときにはbecauseをつかうんだ。

例えば、

「私は忙しいから」や「病気なので」のようなときに使って、

Because I am busy (私は忙しいから)

Because I am sick (私は病気なので)

のような形になるんだ。

接続詞なので、結果の文章とつながるよ。



私は忙しいから遊びにいけない
⇒理由：忙しいから 結果：遊びにいけない
⇒Because I am busy, I can't go out.

私は病気なので学校を休む
⇒理由：病気なので 結果：学校を休む
⇒Because I am sick, I am absent from school.

接続詞becauseの構文

becauseを使った文は、二つの文をつなぐように作られている。

二つのパターンがあり、

①SV + because + SVのように、二つの文章の間に出てくるパターン

②Because SV, SVのように一番最初に出てきて、真ん中に「コンマ（カンマ）」を置くパターン

があるんだ。

①S V because S V
I read books because I am free.

②Because S V , S V
Because I am free, I read books.

並び替えの時には、「コンマ」があるかどうかで判断できるよ。コンマがある時は先に接続詞が来ることに注意！



接続詞 ifとは

ifの意味

「もし～なら」と物事の仮定を表す文を作るときには「if」を使うよ。

例えば、

「もし明日ひまなら」や「もし寒かったら」など

If you are free tomorrow, (もし明日ひまなら)

If it is cold, (もし寒かったら)

のような形になるんだ。

例文

If it rains, we will stay home. (もし雨が降れば、私たちは家にいます。)

If you study hard, you will pass the exam. (もし一生懸命勉強すれば、試験に合格するでしょう。)

接続詞ifの構文

ifを使った文は、二つの文をつなぐように作られている。

二つのパターンがあり、

①SV + if + SVのように、二つの文章の間に出てくるパターン

②If SV, SVのように一番最初に出てきて、真ん中に「コンマ」を置くパターン

があるんだ。



① S V if S V.

You will pass the exam if you study hard.

② if S V, S V.

If you study hard, you will pass the exam.

becauseと同じだね

接続詞 when とは

when の意味

「～するとき」のように時を表す文章を作るときには「when」を使うよ。

例えば、

「家に帰ってきたとき」や「子供のとき」など

when I got home (家に帰ってきたとき)

when I was a child (子供のとき)

のような形になるよ。

例文

When I was a child, I lived in America. (子供のとき、私はアメリカに住んでいた)

I usually play the guitar when I have free time. (時間があるとき、私はたいていギターを弾く)



接続詞whenの構文

whenを使った文は、二つの文をつなぐように作られている。

二つのパターンがあり、

- ①SV + when + SVのように、二つの文章の間に出てくるパターン
- ②When SV, SVのように一番最初に出てきて、真ん中に「コンマ」を置くパターンがあるんだ。

- ①S V when S V.
I lived in America when I was a child.
- ②When S V, S V.
When I have free, I usually play the piano.

becauseやifと同じで、パターンが二つあるよ。並び替えや英作文のときは「コンマ」に気を付けよう

まとめ

意味	接続詞
と言うことを	that
もし～なら	if
～するとき	when
なぜなら～だから	because

